

えこっち・やす 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」 ニュースレター 第39号

令和4年1月発行
えこっち・やす事務局
(野洲市役所 環境課内)

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
昨年はコロナが落ち着いた時期もありましたが、11月には新たな変異株が報告され、まだまだ油断できません。活動の際には引き続き感染拡大防止対策を講じながら取り組んでいきます。そしてこの状況が1日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう、心から願っております。
さて、コロナ禍における活動に制限等ありますが、秋以降に実施した環境活動をご紹介します。



QRコードを読み込み、えこっち・やすの活動を見てみよう!!

まちなかの緑づくりプロジェクト

実施主体：緑の推進委員会・やす緑のひろば



★光と竹のカーニバルを開催しました！
10/29(土) 10/30(日) 参加者 1800人

野洲青年会議所と共催で、野洲川自然の森、どんぐり広場を中心に、竹に透かし彫りした灯籠、竹を編んだ籠球灯り、竹トンネルなど自然の森で光と竹を生かした作品を展示しました。夜のイベントでしたが、2日間で合計1800人余の参加者に野洲川自然の森を知っていただく良い機会となりました。

★秋のふれあいイベント

11/13(土)参加者 25人
森の探索、ネイチャーゲーム、タケメシ、焼き芋、マシュマロ焼きなど楽しみながら、自然に親しむイベントを開催し、好評でした。このようなイベントをきっかけに、自然を大事にする人が増えることを期待しています。



★野洲川自然の森整備活動 (月3回)

月3回の定例活動にて野洲川河辺、北流跡自然の森の竹伐採、散策路整備、樹木実生の育成など整備活動に取り組んでいます。平野部の貴重な緑であり、地域の憩いの森、子ども達が身近で自然に触れあえる森として日々整備活動に取り組んでいます。

★野洲青年会議所との協働作業

野洲青年会議所と協働で、屯倉神社口周辺に、竹柵を設置しました。今後もコラボできること期待しています。



里山を守り育てるプロジェクト

実施主体：山部会



★秋の紅葉登山「天山と希望が丘の西尾根」 11/27(土)参加者 25人

昨年の秋の紅葉登山は、さくら墓園から菩提寺山展望台へ歩き、今年秋の紅葉登山は、「天山と希望が丘の西尾根」を歩きました。このイベントを通じ、幅広い世代の方々に野洲の里山を知っていただく機会となりました。



★里山の保全作業

コロナ禍でも里山の自然はあたたかく、私たちの活動を迎えてくれました。月4回の山作業では里山の登山コースや遺跡の整備、森林の間伐等を行いました。



★つるでかご・リースづくり

12/5(日)参加者 23人

森づくり塾では毎年恒例の「つるでかご・リースづくり」を森楽校にて実施しました。リースやかごは、里山にある材料を使用するなど、子どもから大人までが自然に親しみながら楽しんでいる様子が見られました。



ごみの資源化プロジェクト

実施主体：エコ資源部会



★家具類・食器類の無償譲渡 (環境フェスタ 2021) 12/5(日)参加者 200人(小型家電回収含む)

リユースの促進を目的に、廃棄物として出された家具類・食器類の中から使用できるものを選び、市民に無償で譲渡する取組です。今年度からはクリーンセンターで常設展示しています。環境フェスタでは、家具類の譲渡人数は14人、食器類の譲渡人数は22人。譲渡した総重量は232kgでした。新しいものを買う前に、野洲クリーンセンターに見に来てください。



★廃食油の回収 (毎月第4土曜日 10時～12時)

野洲市役所別館前にて回収を行っています。廃食油は捨てればごみとなりますが、リサイクルに回すことで、植物性油脂で作られた代替燃料や、石けんに生まれ変わります。是非廃食油回収にご協力下さい。



みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

実施主体：NPO 法人家棟川流域観光船
家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト



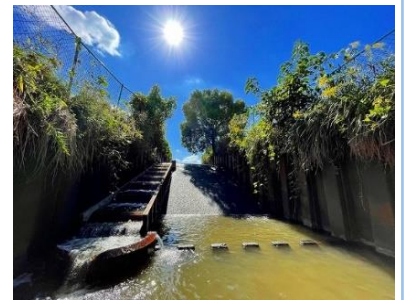
★産卵床造成(中ノ池川、童子川) 10/7(木) 10/12(火)

ビワマスは秋頃になると生まれ育った川に戻り、その場で産卵を行います。ビワマスが産卵できるよう、市民、市民団体、企業、専門家、行政が協働し、中ノ池川、童子川計3か所の河床に砂利を敷き、ビワマスの好む産卵場を造りました。



★魚道設置 10/15(金)

ビワマスが上流に生息できるよう、中ノ池川落差工に魚道の設置を行いました。ビワマスが遡上する他、それ以外の魚の遡上にもつながり、上流に生息する魚が増えていくことを期待しています。



★ビワマス遡上調査(10/15~11/30)

産卵床を造った後、ビワマスが生まれ育った川に戻っているか、また密漁者がいないか等、巡視を行います。雨が降ると川の水位が上がり、ビワマスが戻ってくる様子が見られました。そして産卵行為をするビワマスや設置した魚道を遡上するビワマスも見受けられ、3月に行う稚魚調査が非常に楽しみです。



ごみを減らそうプロジェクト

実施主体：ごみ減量プロジェクト



★環境に優しい買い物キャンペーン

10/25(月) 10/26(火) 10/27(水) 10/28(木)

マイバッグの持参、食品ロス削減を目的に10月の3R推進月間に伴い、市内小売店舗(計4店舗)にて、プラごみ削減チラシや、食品ロス削減ポケットティッシュの配布を行い、普及啓発に努めました。

★駅前周辺のごみ拾い活動

今年度から年2回、野洲市内のごみ拾い活動に取り組んでいます。ごみを1つでも減らし、野洲の景観を守りたい思いから積極的に活動しています。



★食品ロス寸劇 11/26(金)参加者約30人

食べられるのに廃棄される食品を食品ロスと言い、日本では年間600万トンもの食品ロスがあります。買い物に行く際には、冷蔵庫の中身を確認し、購入する際には手前の陳列商品から取ることなど、寸劇を通して啓発を行っています。



びわ湖を守ろうプロジェクト

実施主体：びわ湖水と地域の環境を守る会
野洲市びわ湖を守る会



★ヨシ群落再生・松林保全イベント

11/6(土)参加者約200人
地域のスポーツ少年団、企業、団体等、計200人程が当イベントに参加しました。ヨシを植えること、松林保全作業と二手に分かれて実施しました。びわ湖を守る思いを受け継いでいく人が1人でも増えることを願っています。



★びわ湖環境学習 ヨシ植えイベント

12/6(月)中主小学校4年生100人
子どもたちが学校で育てたヨシ苗を、びわ湖岸に植えました。ヨシは浄化作用や生き物の棲み処にもつながりますが、1番大切な役割は湖岸の浸食を防ぐことです。子どもたちがヨシの生育から植えるまでを行うことで、その大切さを学習することができました。



★フードドライブの実施 (市環境課)



フードドライブとは、各家庭で余っている、使いきれない未利用食品を集め、それらをフードバンク団体や、地域の福祉施設等に寄贈する活動です。市環境課では、10月の食品ロス削減月間に伴い、市職員を対象に、フードドライブを実施しました。全部で29kgの未利用食品が集まり、それらを「フードバンクびわ湖」に受渡し、未利用食品の有効利用につなげました。今後市民への参加を働きかけていきます。



★企業の環境活動紹介

滋賀ダイハツ販売株式会社

11/3(水)参加者43人



地域と環境のために全社員の方が取り組んでおられ、琵琶湖（野洲市）のヨシ植えも18年続けられています。他市では森づくりなどに取り組まれている他、店舗周辺のごみ拾いや溝掃除、ゴーヤのカーテンや、ペットボトルキャップリサイクル、マルシェなど、積極的なSDGs活動を実施されています。



えこっち・やす会員募集！！

私たちと一緒に、自然豊かな環境の保全、エコな暮らしを実現する街にしていきましょう！ぜひお待ちしております！

個人：500円
団体：1,000円
事業者：2,000円

- ・会費は「えこっち・やす」を運営するための費用の一部に充てます。
- ・会員のみなさまにはイベントなどの取り組み状況をまとめたニュースレターをお送りします。

お問い合わせは事務局(野洲市役所環境課)まで

TEL 077-587-6003/FAX 077-587-3834/E-mail kankyuu@city.yasu.lg.jp